2023年3月期 決算説明会資料

2023.5.11

株式会社リログループ(証券コード:8876)

連結業績概要



(百万円)

	22/3期 実績	23/3期 実績	前期比	23/3期 通期計画	計画達成率	
売上収益	113,145	123,698	+9.3%	125,000	99.0%	
営業利益	20,524	22,747	+10.8%	22,400	101.5%	
税引前利益	21,770	25,869	+18.8%	23,500	110.1%	
当期利益	15,644	20,887	+33.5%	20,700	100.9%	

[※]BGRSを非継続事業に分類し、2022年3月期についても組替え

主力のストックビジネスが堅調に積み上がったことに加え、人の移動の回復により、海外赴任支援事業、観光事業を中心としたフロービジネスの業績も大きく改善

連結業績概要 (特殊要因)



		(百万円)
	22/3期	23/3期
売上収益	113,145	123,698
売上原価	62,235	68,351
	50,909	55,346
販管費及び一般管理費	34,251	35,252
その他の収益	1 4,628	3,584
その他の費用	761	931
営業利益	20,524	22,747
金融収益	64	3 2,297
金融費用	568	915
法人所得税費用	2 5,569	9,224
継続事業からの当期利益	16,201	16,664
非継続事業	▲ 93	4,845

主な特殊要因

①ストックオプションの戻り益(※) 約14億円を「その他の収益」に計上

※第三次オリンピック作戦の期間延長により、発行していたストックオプションの行使条件未達成が確定し、積み立てていた費用を戻り益として計上したもの

②BGRS再編に伴い、繰延税金資産<mark>約20億円</mark> を計上(法人所得税費用を減額)

③株式会社リロクラブが出資する VENTENY Fortuna Internationalの インドネシア証券取引所への新規上場に伴 い、有価証券評価益<mark>約15億円</mark>を「金融収益」 に計上

④SIRVA-BGRSの共同経営開始に伴い、 BGRSの株式売却益約48億円を「非継続事業」に計上

連結業績概要 (特殊要因調整後)



(百万円)

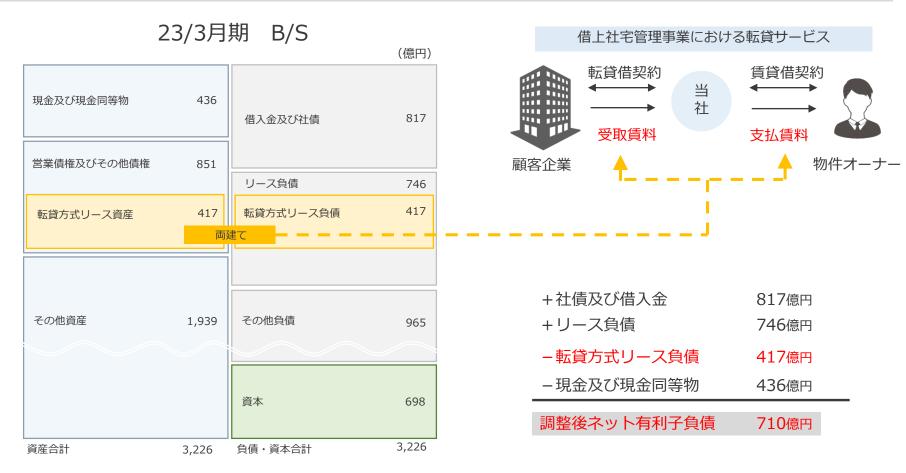
	22/3期 特殊要因調整後	23/3期 特殊要因調整後	前期比	23/3期 通期計画	計画達成率
売上収益	113,145	123,698	+9.3%	125,000	99.0%
営業利益	19,124	22,747	+18.9%	22,400	101.5%
税引前利益	20,370	24,379	+19.7%	23,500	103.7%
当期利益	12,798	16,070	+25.6%	15,800	101.7%

^{※2023}年3月期の当期利益計画は、特殊要因(BGRS株式売却益)による上方修正前の計画値を掲載

• 主な特殊要因を除いても、それぞれの利益で過去最高益を達成

財政状況計算書

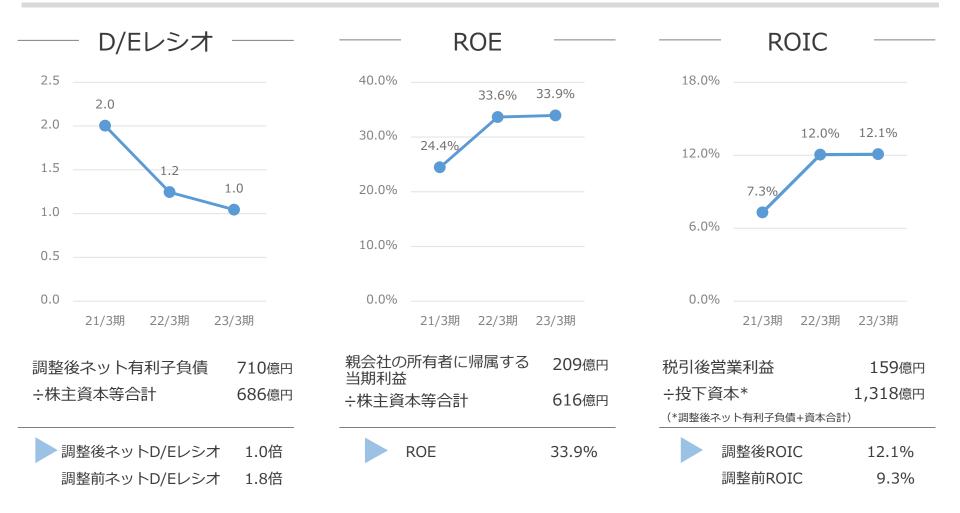




- IFRS会計基準適用により、借上社宅管理事業における転貸サービス(サブリース)がリース会計の対象に
- 転貸方式で両建てのリース資産とリース負債は2023年3月末時点でそれぞれ417億円
- 転貸方式リース負債を除いた調整後ネット有利子負債は710億円

資本効率

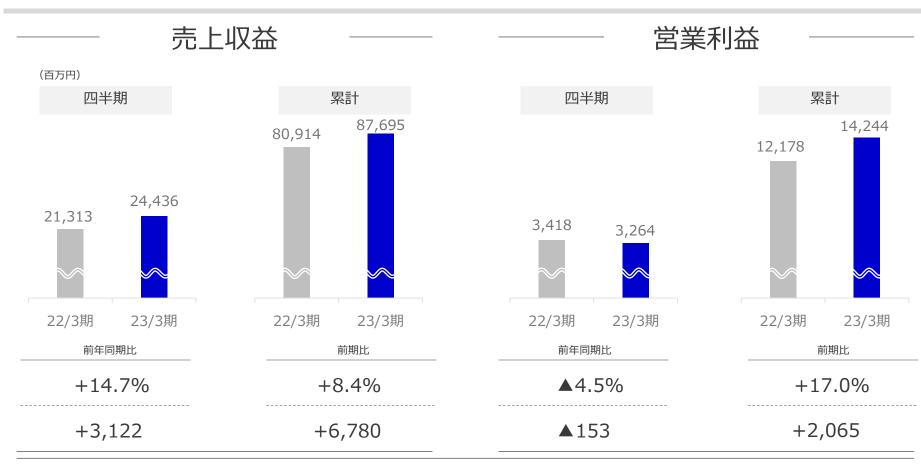




- 借入金の返済が進み、調整後D/Eレシオは1.0倍まで改善
- ROEは高水準を維持

リロケーション事業 (業績)

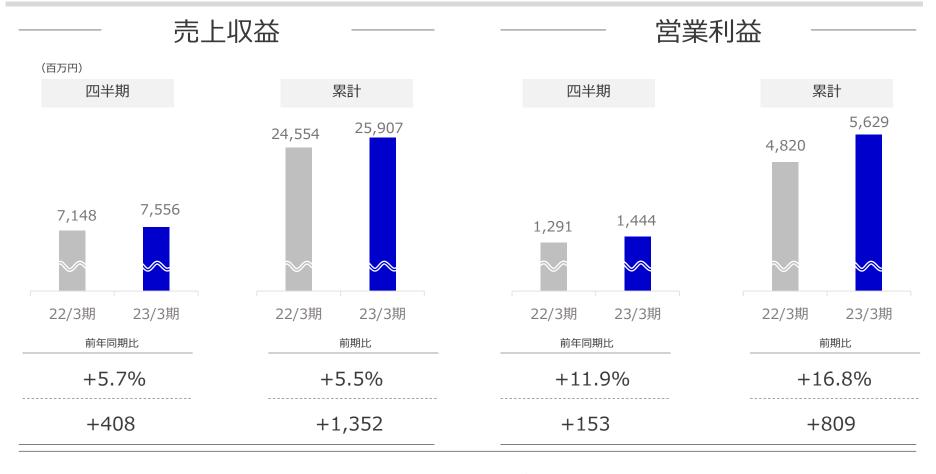




- リロケーション事業は以下のサブセグメントで構成 ①借上社宅管理事業、②賃貸管理事業、③海外赴任支援事業
- サブセグメントの業績は次頁以降にて説明

借上社宅管理事業 (業績)





- ストック基盤である借上社宅や留守宅の管理戸数増加に伴い、管理収入が伸長
- 人の移動の回復により、企業の転勤に伴う引越しや賃貸仲介等からの収入が増加

借上社宅管理事業(KPI)

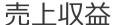




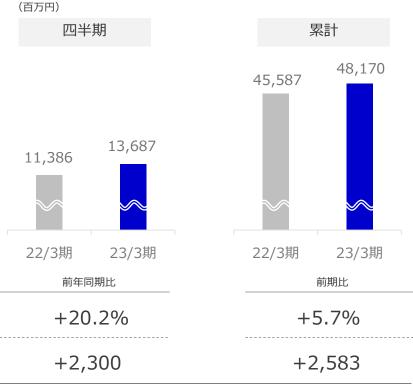
- 社宅管理戸数
 - 前期比15,286戸増(6.9%増)の238,252戸
 - 新規営業は引き続き好調
 - 過去最高の受注を更新し、ストック基盤は順調に拡大
- 留守宅管理戸数
 - ・ 前期比613戸増(7.0%増)の9,320戸

賃貸管理事業 (業績)

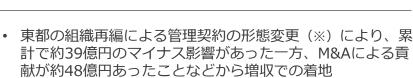












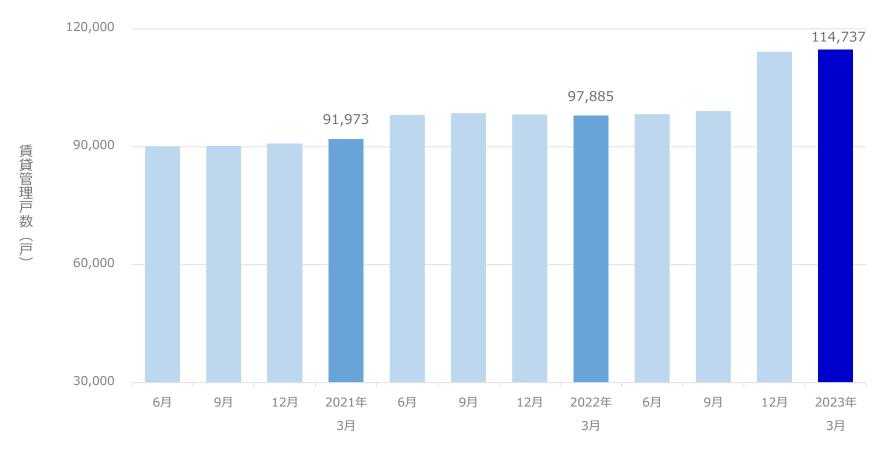
※売上収益と売上原価に両建てされていたサブリースの家賃計上がなくなり、管理手数 料のみがネット計上される契約形式へ変更。粗利益への影響はなし



- 累計は増益を確保する一方、四半期は減益
- 大型物件売却が当期は第2四半期に集中したが、前期は第4 四半期に計上
- IFRS適用に伴いのれん定期償却がなくなったため、のれん 減損判定を慎重に行った結果、約5億円の減損損失を計上。 減損した子会社については、すでに組織再編等の対策をう ち、今期以降の業績改善を見込む

賃貸管理事業 (KPI)

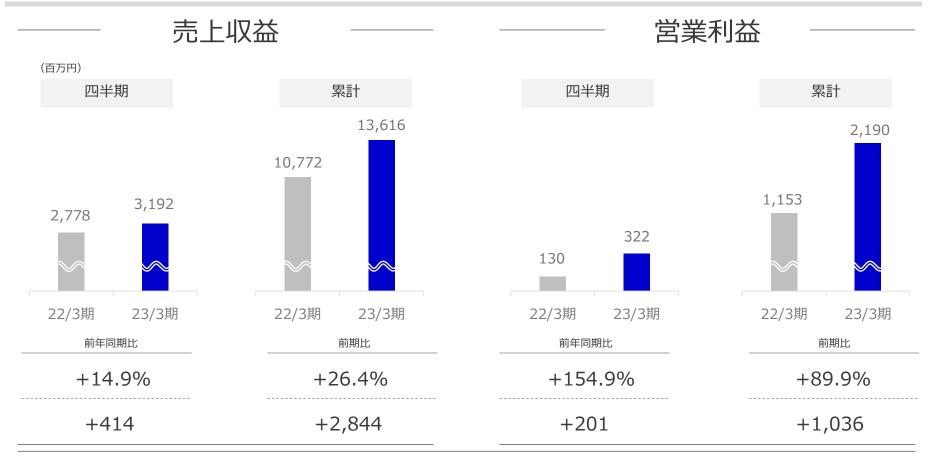




- 賃貸管理戸数は前期比16,852戸増の114,737戸
- 当期に実施したM&A効果により、ストック基盤が拡大
- 既存賃貸管理会社の成長はもちろんのこと、引き続きM&Aを推進し、ストック基盤の拡大を図る

海外赴任支援事業 (業績)

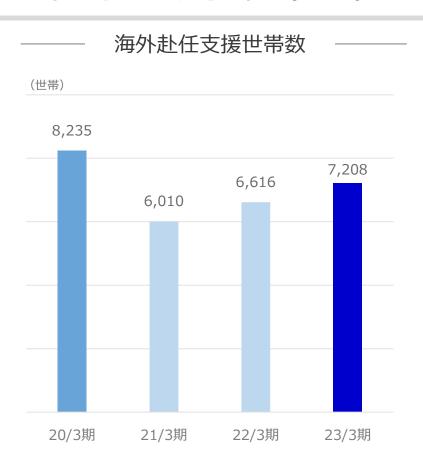




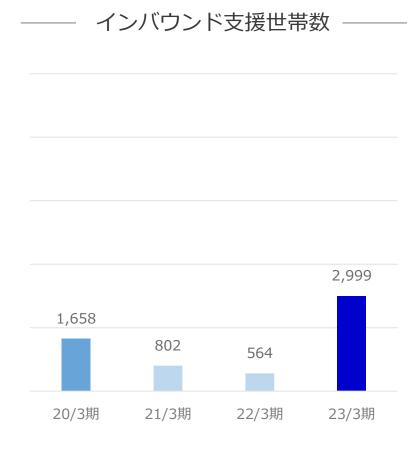
- 当期は国際的な人の移動の再開と、日本国内における外国人人材への強いニーズを再確認
- 海外赴任支援世帯数、インバウンド支援世帯数が回復し、前期比89.9%の増益、コロナ禍前(19/3期)比36.1%の増益
- 海外出張の動きが再開しており、今後は出張関連ビジネスの回復にも期待
- 北米で日本人向けサービスを提供するRelo Redacが扱う賃貸仲介件数は、コロナ禍前の9割まで回復し前期比増益
- 海外転勤関連のコンサルティングサービスを提供するAIRINCは、グローバル企業からの受注が増加し前期比増益

海外赴任支援事業(KPI)





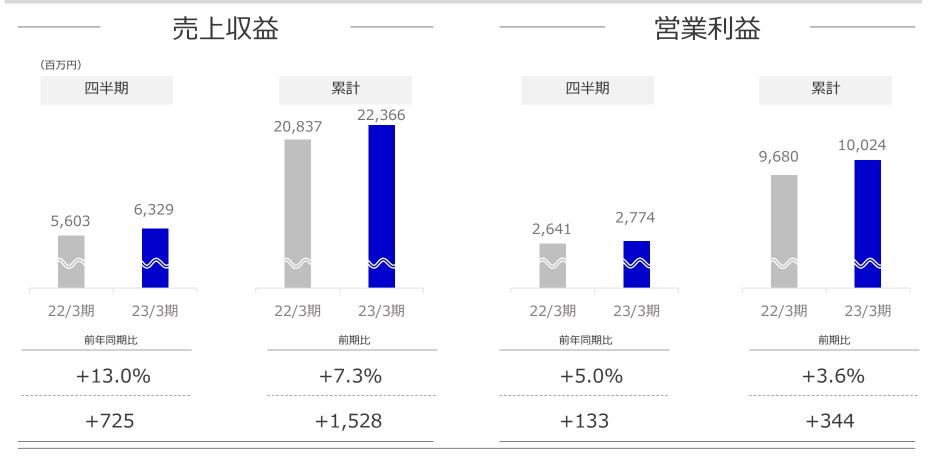
国内から海外への赴任支援世帯数はコロナ禍前の約9割まで 回復



• コロナによって停滞していた人の移動が再開し、インバウンド支援世帯数が急増。コロナ禍前の約2倍の水準。蓄積していた需要が落ち着いた後も好調が続いており、需要の強さを確認

福利厚生事業 (業績)





- ストック基盤となる会費収入は、前期比7.5%増と着実に成長し増益を確保
- 人の移動の回復により、会員の利用が増加

福利厚生事業 (KPI)

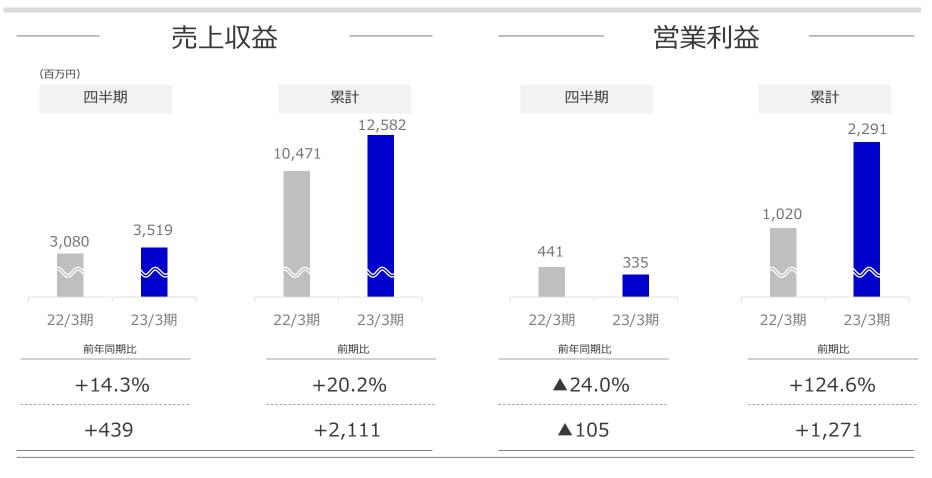




- ・ 会員数は前期比35万人増の667万人
- コロナ禍で一時伸び悩んだ会員数は、国内の労働力不足を背景に需要が再拡大し、会員獲得数が回復
- 健康経営への注目が増していることから、リロクラブが提供する健康アプリ等が会員獲得に寄与
- 当期の新規営業獲得は過去最高水準。ストックである会費収入は着実に増加

観光事業 (業績)

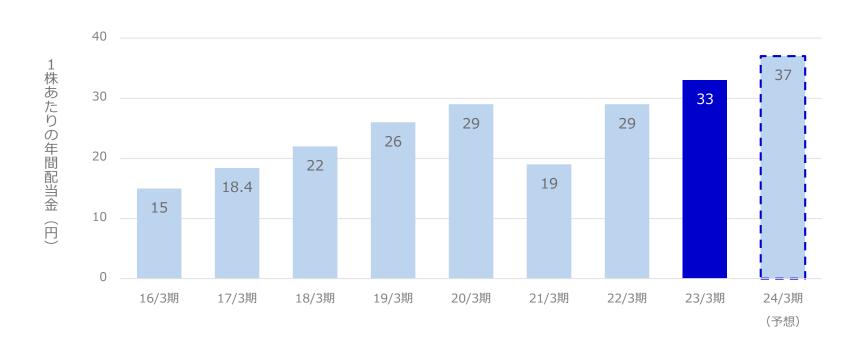




- 人の移動の活発化により宿泊需要が回復
- ホテル事業において高い客室稼働率を確保したことに加え、「全国旅行支援」も追い風となり累計では大幅な増益を確保
- 四半期利益の主な減益要因は、水道光熱費、物価等の上昇やタイムシェア事業におけるポイント利用の時期ずれによるもの

株主還元





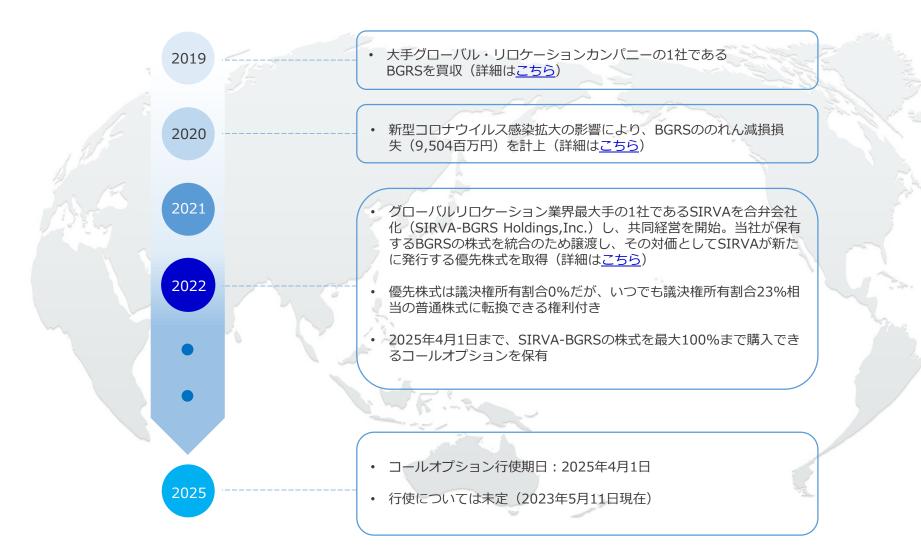
- 2023年3月期の配当金は、当期業績が好調に推移したことを鑑み期初計画31円から引き上げ、 1株当たり過去最高の**33円**と決定
- 2024年3月期の年間配当予想は37円

■ 配当方針

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を経営における重要課題の一つとして捉え、30%前後の配当性向を目安に連結業績に連動した配当とすることを基本方針としております。加えて、一過性の特殊要因による影響を必要に応じて調整することで、安定的な利益還元を図ってまいります

SIRVA-BGRS





2024年3月期 セグメント別事業計画



	リロケーション事業								
	借上社宅管理事業			賃貸管理事業			海外赴任支援事業		
(百万円)	23/3期	24/3期	前期比	23/3期	24/3期	前期比	23/3期	24/3期	前期比
売上収益	25,907	30,000	+15.8%	48,170	50,000	+3.8%	13,616	15,000	+10.2%
営業利益	5,629	7,000	+24.4%	6,423	8,000	+24.6%	2,190	2,600	+18.7%
取り組み	管理戸数によるストック収益の増加システムによるコスト削減効果の実現			賃貸管理会社同士の再編、統合による 経営合理化を推進引き続きM&Aを推進			国内、海外出張の需要回復に伴う収益 改善インバウンドリロケーションの需要継 続		

	1	福利厚生事業		観光事業		
(百万円)	23/3期	24/3期	前期比	23/3期	24/3期	前期比
売上収益	22,366	26,000	+16.2%	12,582	13,000	+3.3%
営業利益	10,024	12,500	+24.7%	2,291	2,000	▲12.7%
取り組み	好調な新規加会員の利用	獲得による、会	費収入の増	業務効率化、顧客満足度の向上複数施設のオープン23/3月期は大型物件売却があったことから減益の計画		

2024年3月期 連結業績計画



(百万円)

	23/3期 実績	23/3期 特殊要因調整後	24/3期 計画	前期比	前期比特殊要因調整後
売上収益	123,698	123,698	135,000	+9.1%	+9.1%
営業利益	22,747	22,747	27,700	+21.8%	+21.8%
税引前利益	25,869	24,379	29,000	+12.1%	+19.0%
当期利益	20,887	16,070	19,000	▲9.0%	+18.2%

- ・ 当期利益は、2023年3月期の特殊要因調整後では18.2%の増益計画
- 今期、各利益で実質的な過去最高益を連続して狙う



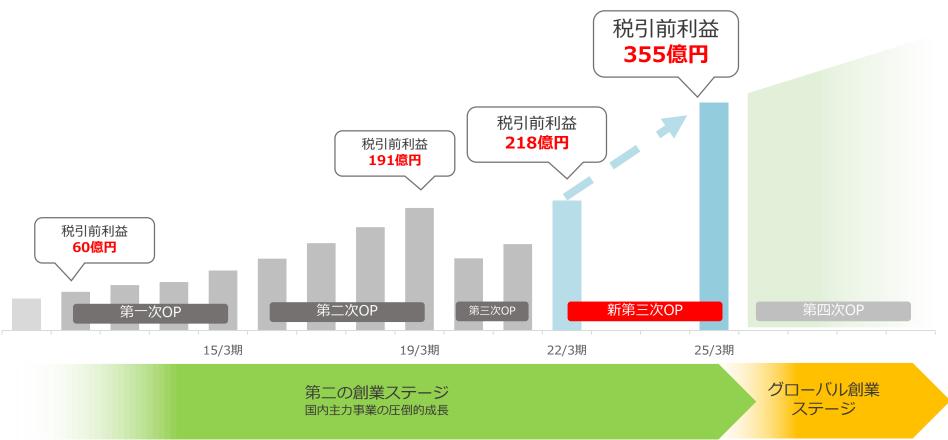
中期経営計画



中期経営計画「新第三次オリンピック作戦」

国内主力事業ダントツNo.1、世界の市場へリーチする土台作りに挑む

『第二の創業』は、2012年3月期を初年度とする20年以上に及ぶ中長期の事業構想です。 前半を『第二の創業ステージ』、後半を『グローバル創業ステージ』と位置付けて、ステージ内に中期経営計画『オリンピック作戦(OP)』を策定しております。現中計の新第三次オリンピック作戦は2025年3月期を最終年度とし、売上収益1,500億円、税引前利益355億円という目標の達成に挑んでまいります。



リログループの多角的なポートフォリオ



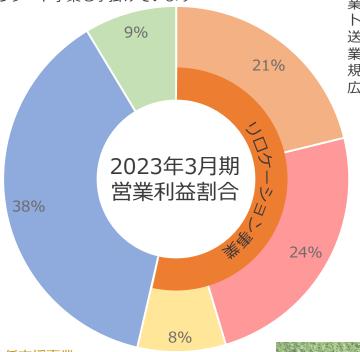


■観光事業

地方の中小型ホテル・旅館の運営で培ったノウハウを活用して、ホテル・旅館の運営事業を展開しているほか、後継者問題を抱えるホテル・旅館の再生にも取り組んでいます。 また、コンドミニアムタイプのポイント制タイムシェアリゾート事業も手掛けています

■福利厚生事業

企業に勤める従業員を対象とした企業福利厚生のアウトソーシングサービスを提供。福利厚生分野のパイオニアとして、全国の事業拠点で各地域に密着し、余暇を充実させるレジャー・宿泊メニューのほか、スキルアップ、健康診断、育児・介護メニューなど、従業員の皆さまの生活や働き方を支援するライフサポートメニューを多数取り揃え、従業員の皆さまの生活の充実と企業の活力向上をサポートしています



■借上社宅管理事業

業界初の転貸方式により、社宅管理のフルアウトソーシングサービスを提供。物件契約、家賃送金業務、退去時交渉等、社宅に関する煩雑な業務を請け負う他、転勤時の持ち家管理、社宅規程のコンサルティング等、社宅に関連する幅広いサービスを展開しています

■賃貸管理事業

国内主要都市を中心に事業展開し、各地域において賃貸物件オーナー向けに管理業務のアウトソーシングサービスを提供。また、継続的に全国各地の賃貸管理会社をM&Aすることで事業拡大を図り、ノウハウを横展開することで持続的成長を実現しています



赴任前から帰任に至るまで、就労ビザの申請、予 防接種、海外引越などの煩雑な手続きをトータル サポート。海外赴任に関連する各種データ等の提 供や海外赴任規定の作成など、関連する様々な サービスも提供しています。さらに、日本企業が 進出する国・地域ではサービスアパートメントの 運営や現地における住宅斡旋などの海外駐在員向 けトータルサービスも手掛けています



サステナビリティ



当社HPに、サステナビリティ方針をはじめとした各方針、およびESGデータを掲載しております。





ご連絡先

株式会社リログループ 企画IRグループ

TEL: 03-5312-8704

E-Mail: ir@relo.jp

URL: https://www.relo.jp/

本資料は、当社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。また、本資料は2023年3月現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また今後、予告なしに変更されることがあります。